

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	教育制度論				
担当者氏名	中村 哲也				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

本科目では、教員として必要な教育制度・行政に関する基本的な知識について学ぶ。学習スタイルとしてアクティブ・ラーニングを取り入れる。テキストの内容を各自が読み解きまとめ、その内容について互いに教え合う。「人に教えること」を目的とすることで、より学習のねらいが明確になり意欲も高まる。また「人に教える」という学習活動自体が学習内容の定着に有効である。

《授業の到達目標》

本科目は、「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」に関して学習する科目である。その内容に関して基本的な事項の理解をするだけではなく、現在の学校教育がどのような制度のもとに成り立っているのかについて中心的な概念や考え方についても理解してもらいたい。アクティブ・ラーニングを取り入れることでより深い理解が可能になると考えられる。

《成績評価の方法》

平常（出席）点 10% 授業内テスト80% 課題10%

《テキスト》

樋口修資 著 2020年「いまさら聞けない！日本の教育制度」武久出版

《参考図書》

参考図書については授業中に適宜紹介する。

《授業時間外学習》

予習・復習の内容方法等は、授業時適宜指示する。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は小学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の進め方・評価方法など
2	テキストからの問題作成と相互出題①	講義をもとに学習内容をまとめ、各自が内容に関する問題を作成して、学修者同士で問題を出し合う。
3	テキストからの問題作成と相互出題②	講義をもとに学習内容をまとめ、各自が内容に関する問題を作成して、学修者同士で問題を出し合う。
4	テキストからの問題作成と相互出題③	講義をもとに学習内容をまとめ、各自が内容に関する問題を作成して、学修者同士で問題を出し合う。
5	テキストからの問題作成と相互出題④	講義をもとに学習内容をまとめ、各自が内容に関する問題を作成して、学修者同士で問題を出し合う。
6	中間テスト①	グループで、担当部分のプレゼン資料を作成し、発表の練習をする
7	テキストからの問題作成と相互出題⑤	テキストの内容に関する担当グループからの発表をもとに、内容をまとめ、各自が内容に関する問題を作成して、学修者同士で問題を出し合う。
8	テキストからの問題作成と相互出題⑥	テキストの内容に関する担当グループからの発表をもとに内容をまとめ、各自が内容に関する問題を作成して、学修者同士で問題を出し合う。
9	テキストからの問題作成と相互出題⑦	テキストの内容に関する担当グループからの発表をもとに内容をまとめ、各自が内容に関する問題を作成して、学修者同士で問題を出し合う。
10	中間テスト②	テキストの内容に関する担当グループからの発表をもとに内容をまとめ、各自が内容に関する問題を作成して、学修者同士で問題を出し合う。
11	テキストからの問題作成と相互出題⑧	テキストの内容に関する担当グループからの発表をもとに内容をまとめ、各自が内容に関する問題を作成して、学修者同士で問題を出し合う。
12	テキストからの問題作成と相互出題⑨	テキストの内容に関する担当グループからの発表をもとに内容をまとめ、各自が内容に関する問題を作成して、学修者同士で問題を出し合う。
13	テキストからの問題作成と相互出題⑩	テキストの内容に関する担当グループからの発表をもとに内容をまとめ、各自が内容に関する問題を作成して、学修者同士で問題を出し合う。
14	中間テスト③	テキストの内容に関する担当グループからの発表をもとに内容をまとめ、各自が内容に関する問題を作成して、学修者同士で問題を出し合う。
15	学習の総まとめ	学習内容に関してまとめを行う。